



## 「なとと」設立3周年記念講演会 小野和子さん講演会 ～あいたくてききたくて旅にでる～

2021.11.6



小野和子さんが語りかけます。聴衆ではなく、1対1で向い合っているような感じです。静かですが、力強く、温かい語り口です。民話の世界というよりは、「小野和子」の世界です。

今日は「名取市図書館友の会・なとと」設立3周年記念の講演会です。名取市内や県内はもちろん、遠く関東からも熱心なファンがかけつけて下さいました。

小野さんは、岐阜県高山市生まれ。1970年から宮城県を中心に東北地方の民話採訪をはじめます。県内はもちろん、東北地方に知人はいません。民話を語っていると聞いては、その人を訪ねます。汽車賃をかけて、こんな田舎まで民話を聞きにくる人って、本当に奇人な人だなアと言われたそうです。

民話を聞き（採話）に何度も訪ねていると、語り部の心がゆっくりと開いていきます。「私より、あんたが持ってた方がいい」と宝物の「絵本」を託されたそうです。会場でその「絵本」を見せて頂きました。本当に素晴らしい「絵本」でした。

小野さんは、民話の会を設立したり、民話の編纂、児童文学や翻訳などで、多くの受賞歴があります。民話の採話に多大な貢献をされています。とっても温かく幸せな気分になりました。参加された皆様になとと会員手づくりの「豆本」がお土産に配られました。小野和子さん、本当にありがとうございました。（島貫）

### アンケートの感想から

- もっと聞いていたかった。• 民話というものが、本でない、語りによる良いものにめぐりあえて、とても良かった。• 良い企画で満足しました。
- 語りの中の深い思いを感じました。• 先生の優しい人柄がにじみ出ていました。いつまでもお健やかに。• 民話の深さ、秘められた力に気付かされました。• 若い人のテーマでやってもいいのでは。
- \* 他にも温かい感想を多く寄せられました。内容についても約8割の方に「よかった」との回答をいただきました。ありがとうございました。



お土産の「豆本」



### ブラキムラの歴史講座 2021.10.24

#### 城下絵図の愉しみ～城下町仙台最後の姿～

昨年6月のナイトライブラリーのゲスト木村浩二さんによる〔ブラキムラ・城下町仙台とその周辺の歴史についての講話〕がこの度、会場を増田公民館に移しバージョンアップして第2回目の歴史講座が開かれました。特に今回は江戸末期から明治にかけて作製された絵図をスクリーンに写し、仙台北下の昔に想いを馳せる企画。市内外の歴史好きの老若男女が集いました。

城下を鳥の目線の高所から見下ろしたような立体的に描かれた絵図は碁盤の目状の街路や屋敷林、かかる橋など城下の様子がまるで3Dのようにわかりやすく、頭の中で現代の同じ町並と比べる事が出来てとてもおもしろい。時々横道に逸れてしまう話の中身さえ愉しくて会場の雰囲気は終始温か。皆さん時間が短く感じられた様子です。

まだまだつきない内容に、次回もとの約束をしてのおひらきでした。（篠原）



### 盛況だった図書館まつり

12月4日に図書館まつりが開催されました。昨年見送られたブックリサイクルも再開され、大勢の方が来館されました。お陰様で大盛況に終えることができました。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。



■ 布絵本&仕掛け絵本

■ ブックリサイクル

■ 工作コーナー  
フェルトのサンタクロース

■ ビブリオバトル  
チャンプの大風海翔さん

■ 「なとと」の  
販売コーナー

■ ブックコート体験

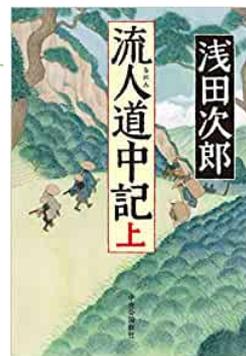
■ 調べる学習コンクール表彰式

♪わたしからあなたへ♪

# 本のバトン no.6

「癒しの時代小説」

横山 菜穂子



「流人道中記 上・下」  
浅田 次郎：著  
中央公論新社：出版

幅広いジャンルの作品を発表している直木賞作家、浅田次郎さんの時代小説です。幕末の万延元年、切腹を拒否して蝦夷へ流罪になった旗本を送り届ける役目となった見習与力。何の罪で切腹を命じられたのかも知らされないまま、2人きりの旅をすることになりました。旅の間に罪人である旗本の人間性に触れ、武士の矜持を知り、大きく成長していきます。旅の途中で出会った人々の生き様も描かれていて、一気に読んでしまいました。関東から東北の道程には馴染みのある宿場も登場します。時代小説ですが、刀を抜く場面が殆どありません。

“武士とは何か”がテーマの作品ですが、読んだ後に「少し癒された…」そんな気持ちになります。

## ☆☆9月～11月のナイトライブラリー☆☆

### ★9/24「動物病院とはどういうところなのか ～獣医臨床の今、これから～」



那智が丘アン・ペットクリニック診察室での安藤太先生と少し異なる雰囲気でお話が始まりました。獣医師という職種に多岐にわたる分野があること。ここ数年宮城県も暖かくなり動物たちの病気も変化して来たこと。コロナ禍でのペットとのかかわり方や注意点など沢山の新しい知識を頂戴しました。今夜は犬や猫など大切な家族の一員と暮らす皆さんが殆どだからでしょうか、先生の「手術などつらい場面があったら目をふせて下さいね」の言葉にも終始真剣に見入ってお話を伺っていました。



### ★10/29「落語会～としょかん寄席～」

いつものカフェコーナーが、俄か舞台に赤い毛氈と座布団が敷かれて、寄席の世界に早変わり。会場は大入満員です。定席寄席「花座」の「社会人みちのく落語会」に出演されている、東北学院大学落語研究会OBの替り家志ん喬氏に 演目「大安売り」と「不動坊」を披露していただきました。

合間の“なんちゃって落語講座”では、ご苦労の多い落語家さんの生活も面白可笑しく紹介され、笑いを誘っていました。人間味のおもしろさが伝わる、生の落語会を堪能できた贅沢な時間でした。笑いは明日への活力に！



### ★11/26「木づかいのまちづくり」

NHK朝ドラ「おかえりモネ」で話題となった『組手什』。その大もとの登米町森林組合の林業考証として活躍された竹中雅治氏と名取市図書館復旧にご尽力頂いた建築家の杉本洋文先生（リモート出演）お二人をお迎えしての70分の拡大版です。

東日本大震災で大きな被害を受けた名取市図書館。その図書館復旧の立役者が今夜の講師お二人と組手什です。『組手什』は、規則的なきざみをいれた木製棒状の部材です。その部材を組合せるだけで、棚、台、机など、自由に素早く何でも作れる優れ物です。その優れ物を作る材料の木材の育て方、管理や商品化の苦労、課題などを教えて頂きました。

そして、世界の潮流は、木材利用の促進。高層の木造建築物や地球温暖化対策、SDGs(持続可能な開発目標)との取組み。未来へ向けて私達がやるべき事、残すべき事など、決意を新たにしたい一夜でした。河北新報の取材も受けました。



## ☆これからのナイトライブラリー☆

★12/24 「クリスマスコンサート  
～クリスマス・イブのタバ～」  
ゲスト ソプラノ 中澤 香織さん  
ピアノ 東 歩美さん

★1/28 「思いを風にのせて  
～凧作り活動 30年の歩み～」  
ゲスト 武田 雄雄さん

★2/25 影絵「名取老女ものがたり」ほか  
ゲスト 虹色マカロンさん

日 時 毎月最終金曜日 19:30～20:30  
会 場 カフェコーナー

## 図書館の本で楽しく作ろう！ ～花のペーパークラフト～

日 時 2月8日(火) 10:00～12:00  
会 場 図書館 情報発信コーナー  
定 員 10名  
参加費 100円(材料費)  
申込み受付は1月15日から図書館へ

## でんごんばん

### ♪ 「なとと」の情報はどこで？

「なとと」のfacebookを開始しました。「なとと通信」をはじめ「なとと」に関する情報が満載されています。是非アクセスしてみてください。



「なとと通信」は、個別の配布はしていません。図書館、各公民館、文化会館、駅プラザ、市民活動支援センター、歴史民族資料館に配置しております。もちろん図書館の掲示板「なとと広場」もチェックしてみてくださいね。

♪ 10/29のナイトライブラリーでゲストの替り家志ん喬氏が、なんと柴崎館長さんも同じOBだと話題にされました。今度是非一席願いたいですね。

♪ 嬉しいことに会員が増えてきています。更なる充実を目指していきましょう♪



良いお年をお迎えください。2022年もよろしくお願いたします。

